

公益社団法人京都モデルフォレスト協会 平成 28 年度事業計画

<重点方針>

1 平成 28 年秋に京都府で開催される全国育樹祭の成功に向け、関連行事を開催するとともに、次代を担う緑の少年団活動の促進を図ります。

- (1) 第 40 回全国育樹祭の開催機運の盛り上げを目的に関連行事の開催などを通じてその趣旨を広く府民に PR します。(継続)
- (2) 「府民育樹祭 (モデルフォレスト DAY)」において、交流イベントや森づくり体験等により「全国育樹祭」を PR します。(継続)
- (3) 全国の緑の少年団が参加する「全国緑のこどもサミット」を府実行委員会とともに共催し、緑の少年団の活動支援等に取り組みます。(新規)
- (4) アジア地域モデルフォレスト運動における子どもたちの森の学習を通じた交流支援を行います。(新規)
- (5) 毎年開催の国土緑化推進ポスターコンクールを通じ、国土緑化の機運を高めます。(継続)

2 京都モデルフォレスト運動の 10 周年記念と今後の運動の発展をめざした取り組みを行います。

- (1) モデルフォレスト運動の 10 年を振り返るとともにこれからの運動の発展につなげるため、協会設立 10 周年記念誌を発行します。(新規)
- (2) 10 周年記念シンポジウムを開催し、関係者が一堂に会し、これからのモデルフォレスト運動のめざすべき方向と協会の役割について議論を深めます。(新規)
- (3) モデルフォレスト運動の一層の発展をめざし、関係団体、企業、ボランティアがそれぞれの活動に活かせるよう、実践的な内容での連続講座を開催します。(新規)
- (4) 林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」事業や京都府の「府民参加型里山ふれあい事業」を活用し、地域と一体となった持続的な森林の整備活動や森林資源の利活用を図る取組を支援します。(継続、新規)
- (5) 森林ボランティア団体や京都府林業大学校と連携し、自主的な森林保全活動を行えるモデルフォレストリーダー等森林づくりに係る人材育成を図ります。(継続)
- (6) 国土緑化推進機構と連携し、平成 29 年に「森林と市民を結ぶ全国の集い」の京都府での開催に向け、検討を行います。(新規)
- (7) 協会ホームページを刷新するとともに、メールマガジン等を活用し、協会や森林づくり団体等が行う森林づくり活動等についてのタイムリーな情報発信を強化し、モデルフォレスト運動への府民参加の裾野の拡大に努めます。(継続)

3 関係団体や協会会員の協力を得て、緑の募金や森林づくりへの寄付金等を拡大する取組を強化し、森林整備、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実します。

1 全国育樹祭の成功に向けた関連行事等の取組

(1) 全国育樹祭関連行事の開催

本年10月の「第40回全国育樹祭」の京都府開催に協賛し、関連行事を実施、森づくり活動をさらに活発化して、モデルフォレスト運動の気運を高めます。

全国育樹祭への参加と併催行事への協力

全国育樹祭の式典にモデルフォレスト運動関係者が参加協力するとともに、併催行事である「全国緑の子どもサミット」を共催し、緑の少年団活動を推進するとともに、「国際森林シンポジウム」を通じ、国内外の交流を深めます。

育樹祭開催に向け、機運を高める取り組みに協力

京都府緑の少年団による、全国育樹祭で贈呈される苗木のホームステイや、運動参加団体や企業の人々による森へのリレーメッセージを進めます。

「モデルフォレストDAY」における府民全体での取組を拡大

森づくり一斉活動期間「モデルフォレストDAY」において、交流イベントや地域に開かれた森づくり体験等を実施するとともに「全国育樹祭」をPRします。

全国育樹祭・緑化運動・愛鳥週間ポスターコンクールの実施

府内の小・中・高等学校の生徒を対象に、緑化運動ポスターコンクールを開催します。優秀作品については展示を行い、府民への緑化思想の啓発に活用します。

(2) 森林環境教育等を通じた次世代を担う子どもたちの育成

緑の少年団の活動を支援

緑の少年団の活動促進等の支援を行うとともに、国際ネットワークを通じた子供たちの学習活動の交流を深めます。

2 モデルフォレスト運動 10 周年記念の取り組みと今後の発展をめざして

モデルフォレスト運動 10 周年記念事業を通して、これまでの歩みを振り返るとともにこれからの運動のますますの発展に向けた各種取組を実施します。

(1) 京都モデルフォレスト運動 10 周年記念事業の取り組み

モデルフォレスト協会設立 10 周年を記念して、記念誌の発行、記念シンポジウムの開催、モデルフォレスト運動連続講座に取り組みます。

記念誌の発行

協会情報誌の「以森伝心」の特別号として、10 周年記念誌を発行し、これまでのモデルフォレスト運動を振り返るとともに、これからの運動の展開や協会の果たすべき役割について、広く普及します。

記念シンポジウムの開催

モデルフォレスト運動の総括についての記念講演と、運動にかかわってきた団体、企業、ボランティアグループの方々や森林林業に携わる関係者によるシンポジウムを開催し、様々な立場の人の思いや意見を共有し、運動のこれからを考えます。

連続講座の開催

各地で様々な形で取り組まれているモデルフォレスト運動が、より一層その活動を深めるとともに、ネットワークをより強固なものにするため、個々の現場で活かせるような実践的な内容での講座を開催します。

(2) 林野庁・京都府事業により地域の森林づくりの取組を支援

林野庁「森林・山村多面的機能発揮対策」事業

林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」事業の交付金の管理、活動組織の支援を行う「地域協議会」の事務局を担うことにより、地域の活動団体が実施する里山林等の森林の保全管理や、森林環境教育等の取組を支援することにより、モデルフォレスト運動の更なる拡大を図ります。また、参加団体の情報交換等の場を設け、活動の自立に向けた取り組みを支援します。

京都府「府民参加型里山ふれあい事業」

京都府豊かな森を育てる府民税を活用した「府民参加型里山ふれあい事業」の受託を通じて、荒廃した里山林の整備を府民参加により行い、府民の森林整備活動に対する関心を高め、モデルフォレスト運動が展開される地域での取り組みのさらなる拡大に努めます。

(3) モデルフォレスト運動活動団体などの交流促進により森林づくりを支援

モデルフォレスト運動に参画する企業、団体、会員等による情報交換と交流のための取り組みを通じ、人や情報のネットワークを構築、活動の拡大と高度化を推進します。

企業等の参加促進と交流による活動支援

協会が地域の森林と府民や企業等をつなぐパイプ役となって、企業等に森林づくり活動

への参加を呼びかけるとともに、地域の森林関係団体や NPO、市町村、京都府等と連携して、地域ぐるみで運動を広げ支える取組を推進します。

森林づくり基金による地域の森林づくりの取組支援

モデルフォレスト運動の趣旨に賛同する企業や森づくりに参画する企業等からの寄付金をもとに、地域の森林づくりの計画に基づき活動を行う実行組織等に対して助成金を交付します。助成金は、森林組合、ボランティア団体等が実施する植樹や除間伐、歩道整備、活動場所での木材利用、環境学習等の実施に係る経費に充て、地域の森林づくりの取組を広く PR し、取組の輪を一層広げます。

国際的なネットワークを活用した取組の展開

英文ニュースを発行し、国際モデルフォレストネットワーク(IMFN)の一員として、京都の取組を世界に向けて情報発信します。

(4) 森林ボランティアの養成、支援

森林整備体験教室等の開催

京都府や市町村、ボランティア団体等の取組との連携を図りながら、間伐等の森林整備体験教室や森林体験ツアー等を開催することにより、府民の森林の果たす様々な役割についての理解を高めるとともに森林づくり活動への参加の促進を図ります。

大学等との連携

- ・ 大学等と連携して、学生等の環境学習や地域貢献活動を推進します。
- ・ 大学や試験研究機関の研究成果や知見をモデルフォレスト運動の森林づくりや木材利用の取組に活かします。

森の人材バンクの活用

- ・ 森林インストラクター等の資格者等を登録する森の人材バンクを活用し、森林ボランティア団体や学校、企業等の希望に応じて指導者を紹介・斡旋します。
- ・ 企業、学校、団体等の要望に応じて、森林づくりへの理解を深めるための環境学習講座等を実施します。

(5) 普及啓発や情報発信

紙面、インターネット等による情報発信

協会ホームページを全面的に刷新するとともに、協会広報誌「以森伝心」やフェイスブック、メールニュース等を活用し、協会や森林づくり団体等が行う森林づくり活動等についてのタイムリーな情報発信を行い、モデルフォレスト運動への府民参加の裾野の拡大を図ります。

森林吸収量認証制度を活用した普及啓発

森林吸収量の認証機関として、企業等の森林整備活動や森林づくりへの寄付等による取組を森林吸収量認証等により評価・PR し、企業や NPO の参加を促進します。

3 緑の募金の推進

募金活動を通じて森林をはじめとする緑の重要性等を啓発するとともに、緑豊かな森林づくりや森林と触れあう取組への支援等を進めます。

(1) 緑の募金活動

- ・ 各種行事等での募金や、モデルフォレスト運動参画企業や地方公共団体との連携を強め、募金活動を進めるとともに、協力いただいた募金の活用内容をホームページや印刷物等で積極的に PR することにより募金額の拡大を図ります。
- ・ イベントへの出展や関係団体と連携した街頭啓発活動で、普及啓発に努めます。

	募金強化期間	募金目標額	27年度実績額
春期	3月1日から5月31日	13,000千円	11,542千円
秋期	9月1日から10月31日	5,000千円	4,607千円
計		18,000千円	16,149千円

(2) 緑の募金による事業

森林整備

ボーイスカウトやガールスカウト等が行う森林活動に必要な資材の購入等について助成します。

緑化推進

ア まちなかの森づくり

緑が少ない街中のオープンスペース等における植樹を通して、府民への森や緑の大切さの普及啓発のため、市町村、学校、住民組織等による植樹活動を支援します。

イ 「ふるさとの木」緑化

自然環境下で減少している自生種の植樹等、府内の各地域の自然環境保全に役立つ緑化活動を進めるため、地域性樹種育成の支援や専門家の派遣などを行います。

ウ 学校緑化・森林環境学習推進

次代を担う児童・生徒に、森林や緑の大切さを理解してもらうことを目的に、学校緑化・森林環境学習実施経費を助成します。

エ 緑の少年団等の育成

緑の少年団活動を支援するため、緑の少年団が行う学習活動・野外活動・奉仕活動に係る経費を助成します。

オ 森の出前授業

幼・保・小中学校などへ「森の人材バンク」等から講師を派遣する出前授業を実施するとともに、指導者を対象にした講習や体験講座を実施します。

地域での取組支援（緑の募金交付金）

地域の募金協力団体が、各地域で森林整備や植樹等を通じて緑化思想の普及啓発を図るための経費として、募金実績から交付金を支出するとともに、担当者会議等により相互の情報交換や積極的な交流を進めます。